

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 15財政会計管理費

◎財政一般の経費

財政事務

【 財政課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市民等

意図 予算編成、予算執行管理を円滑に実施し、財政の効率化を図るため。

効果 長期にわたって健全な財政基盤を確立する。

【事業の内容】

(1) 財政事務

- ・ 予算の編成、執行管理及び市債全体の管理に係る事務を実施した。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,182	13,182	11,753		1,429

主な支出内訳

・ 財政事務

財務用追録、文具類等消耗品費	317
予算書等印刷製本費	213
起債管理等システム用機器保守委託料	34
起債管理等システム使用料	189
地方公営企業等金融機構への出資金	11,000

平成21年度事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・20年度は、第3次総合計画の中期実施計画を策定する年度であったため、その計画の裏付けとなる財政収支の見通しを立てるなど、中長期にわたる財政計画の立案が大きな課題であった。また、平成20年度は「財政の健全化に関する法律」の施行に伴う財政指標の公表を行い、さらに平成21年度には「新公会計制度」導入など、新たな業務への対応を図るための準備が必要となっており財政事務の体制強化が課題となってきた。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・財政事務体制強化については、近隣各市の財政部門と比べた場合、極めて人員が少ないなかでの事務執行になっているため、IT機器の効果的な活用、予算査定手法の工夫などを行うなかで効率的な事務を行ってきた。体制面での強化は図れないながらも、財政4指標を議会や市民に公表し、平成21年度に公表予定の新公会計制度による財務諸表作成の準備をするなど、山積する重要課題に取り組んできた。また、従前から行っている財政事務についても、施策の成果報告書の更なる充実を目指し工夫を重ねたり、財務規律を定めている財務事務方針の見直しを行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・極めて人員が少ないなかでの事務執行になっており、財政部門の体制強化を図るには至っていない。今後、「新公会計制度」導入や「財政の健全化に関する法律」の施行に伴い事務量は更に増加する傾向にあるため体制強化は必要不可欠となってきた。 ・経営セクションと財政セクションとの役割分担を確立し、目的・目標・経営理念等の整合を図り鎌倉市の経営方針、財政運営方針等を共有していくことが必要と考えている。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 100年に一度の世界的金融危機といわれていたものが、ようやく一部の事業に底打ちの兆しがみられるものの、それが個人所得の伸びに結びつくまでには至っておらず、依然税収増が期待できる状況にはなっていない。そのような中で、平成20年度に策定された実施計画第2期基本計画の中期実施計画を支える財政計画がどのように推移するか把握した上で、その財源をいかに効率よく、また将来の負担を考慮しながら確保していくかが重要と考えている。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	将来を見据えた財政政策の立案ができるよう、常に国の動向を把握し、いかに効率よく、また将来のの財政負担を考慮しながら財政運営が行えるかを工夫していく必要がある。		有
担当課長氏名:		財政課長 服部 計利	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	将来を見据えた財政政策の立案ができるよう、常に国の動向を把握し、いかに効率よく、また将来のの財政負担を考慮しながら財政運営が行えるかを工夫していく必要がある。また、市民への説明責任が更に重要となってくるため今まで以上に情報開示が必要となる。		有
担当部名	総務部	部長名	兵藤 芳朗